

様式第4のホ（第4条、第5条関係）

地下タンク貯蔵所構造設備明細書

事業の概要				
タンクの設置方法		タンク室 ・ 直埋設 ・ 漏れ防止		
タンクの種類		鋼製タンク・強化プラスチック製二重殻タンク・鋼製二重殻タンク・鋼製強化プラスチック製二重殻タンク		
タンクの構造、設備	形状		常 圧・加 圧 (kPa)	
	寸 法		容 量	
	材 質、板 厚			
	外 面 の 保 護			
	危険物の漏れ検知設備又は漏れ防止構造の概要			
	通 気 管	種 別	数	内 径 又 は 作 動 圧
				mm kPa
	安 全 装 置	種 別	数	作 動 圧
				kPa
可 燃 性 蒸 気 回 収 設 備	有 () ・ 無			
液 量 表 示 装 置		引 火 防 止 装 置	有 ・ 無	
タンク室又はタンク室以外の基礎、固定方法の概要				
注 入 口 の 位 置		注 入 口 付 近 の 接 地 電 極	有 ・ 無	
ポンプ設備の概要				
配 管				
電 気 設 備				
消 火 設 備				
工事請負者住所氏名		電話		

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 「直埋設」とは、二重殻タンクをタンク室以外の場所に設置する方法（地下貯蔵タンクを危険物の漏れを防止することができる構造により地盤面下に設置する方法を除く。）をいう。
- 3 「鋼製強化プラスチック製二重殻タンク」とは、令第13条第2項第2号イに掲げる材料で造った地下貯蔵タンクに同項第1号ロに掲げる措置を講じたものをいう。

様式第4のホ（第4条、第5条関係）

地下タンク貯蔵所構造設備明細書

事業の概要		石油化学製品の開発・製造（原料の貯蔵）		
タンクの設置方法		タンク室 ・ 直埋設 ・ 漏れ防止		
タンクの種類		鋼製タンク・強化プラスチック製二重殻タンク・鋼製二重殻タンク・ 鋼製強化プラスチック製二重殻タンク		
タンクの構造、設備	形状	円筒横置型		常 圧 ・加 圧 (kPa)
	寸 法	内径 2.400m 全長 10.134m 胴長 9.184m 鏡長 0.466m		容 量 40,000ℓ
	材質、板厚	鋼板 SS400 胴板 8mm 鏡板 9mm 中仕切板 9mm		
	外面の保護	強化プラスチック（FRP）にて内装タンクを保護するガラス繊維（JIS R3412）イソフタル系不飽和ポリエステル樹脂（JIS K6919）を交互に2mm以上の厚み及び（JIS K7011）の強度の外殻（FRP）層にて保護する。間隙を有する部分は錆止め塗装、有しない部分はFRPとする。		
	危険物の漏れ検知設備又は漏れ防止構造の概要	内殻層内に検知管を設け、漏油検知装置と接続し、センサーにより漏れの確認を行う。		
	通 気 管	種 別	数	内 径 又 は 作 動 圧
		無弁通気管 (40メッシュ付)	3	50 mm 100
	安 全 装 置	種 別	数	作 動 圧
				kPa
可燃性蒸気回収設備	有（ ）・ 無			
液量表示装置	遠隔式油面計	引火防止装置	有 ・ 無	
タンク室又はタンク室以外の基礎、固定方法の概要	異形鉄筋13mm×@200mmダブル基礎床板。基礎鉄筋にアンカーボルト24mm×360L×8本を引っ掛け、タンクバントを両側より掛けタンク上部でボルト締める。締付金具露出部防蝕塗装。基礎上にゴムシートを敷き、その上にタンクを載せる。			
注 入 口 の 位 置	敷地内東側	注入口付近の接地電極	有 ・ 無	
ポンプ設備の概要	電動式ギヤーポンプ、計量機			
配 管	樹脂配管使用 継ぎ手部には点検口を設ける。又は融着配管とする。配管立ち上がり部はSGP管使用			
電 気 設 備	電気工作物の規定による			
消 火 設 備	第5種 10型3.5kg 粉末消火器 2本			
工事請負者住所氏名	株式会社衣東〇〇製造所 電話〇〇〇〇－〇〇－〇〇〇〇			

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 「直埋設」とは、二重殻タンクをタンク室以外の場所に設置する方法（地下貯蔵タンクを危険物の漏れを防止することができる構造により地盤面下に設置する方法を除く。）をいう。
- 3 「鋼製強化プラスチック製二重殻タンク」とは、令第13条第2項第2号イに掲げる材料で造った地下貯蔵タンクに同項第1号ロに掲げる措置を講じたものをいう。